

会社情報	トップメッセージ	HINO 基本理念	サステナブルな社会の実現に向けて	日野の環境経営	SDGsと日野の戦略・取り組み	CSR マネジメント	トピック	ESGの取り組み		
							環境	社会	企業統治	ESGデータ集・その他

環境取り組みプラン(5ヶ年実行計画) 2020年 環境取り組みプラン 2025年 環境取り組みプラン 6つのチャレンジ 法令順守 マネジメント
各種環境データ その他の活動



CHALLENGE! 2 ライフサイクルCO₂ゼロチャレンジ

LCAを取り入れた製品環境マネジメント

素材 物流 廃棄・リサイクル

自動車は新たな規制への対応や性能向上にともない、製造段階の環境負荷が増加する場合があります。そのため、開発段階からライフサイクルの考え方を取り入れた製品環境マネジメントEco-VAS[※]を活用し、さらなる環境負荷削減を目指しています。

※ Eco-VAS(エコバス Eco-Vehicle Assessment System)とは、LCAの考え方を踏まえ、開発初期段階から環境負荷削減目標を設定し、着実に環境パフォーマンスを高めていくための仕組みです



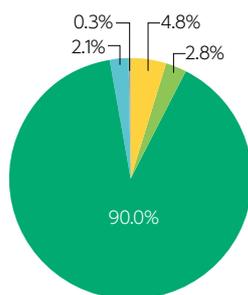
◆LCAの取り組み

トラックなど製品が製造・使用され、最終的に廃棄されるまでのライフサイクルで、環境負荷を定量的に試算するのがLCA(ライフサイクルアセスメント)と呼ばれる分析手法です。日野では2008年よりLCAを取り入れ、順次トラック・バスのライフサイクルCO₂排出量の把握をおこなってきました(各々の結果は下記グラフ参照)。

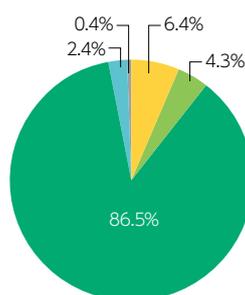
●各モデルのライフサイクルCO₂

■ 素材製造 ■ 車両製造 ■ 走行 ■ メンテナンス ■ 廃棄

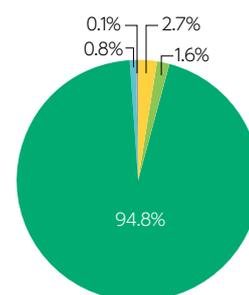
〈小型トラック〉



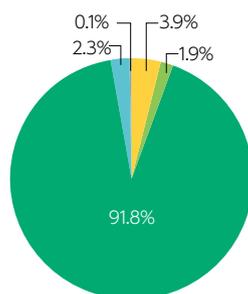
〈小型ハイブリッドトラック〉



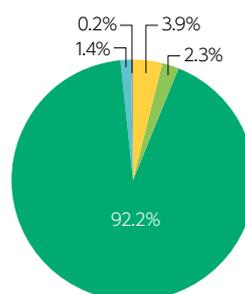
〈中型トラック〉



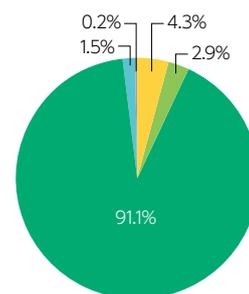
〈大型トラック〉



〈大型観光バス〉



〈大型ハイブリッド観光バス〉



※ グラフは日野独自の計算条件で算出した結果であり、実際の数値とは異なる場合があります。
燃費は重量車モード燃費値を使用しています。評価結果はそれぞれのライフサイクル全体を100%として表しております。

会社情報	トップメッセージ	HINO 基本理念	サステナブルな社会の実現に向けて	日野の環境経営	SDGsと日野の戦略・取り組み	CSR マネジメント	トピック	ESGの取り組み		
							環境	社会	企業統治	ESGデータ集・その他

環境取り組みプラン(5ヶ年実行計画) 2020年 環境取り組みプラン 2025年 環境取り組みプラン 6つのチャレンジ 法令順守 マネジメント
各種環境データ その他の活動

物流におけるCO₂排出量の低減事例

物流

◆ 物流におけるCO₂排出量の削減

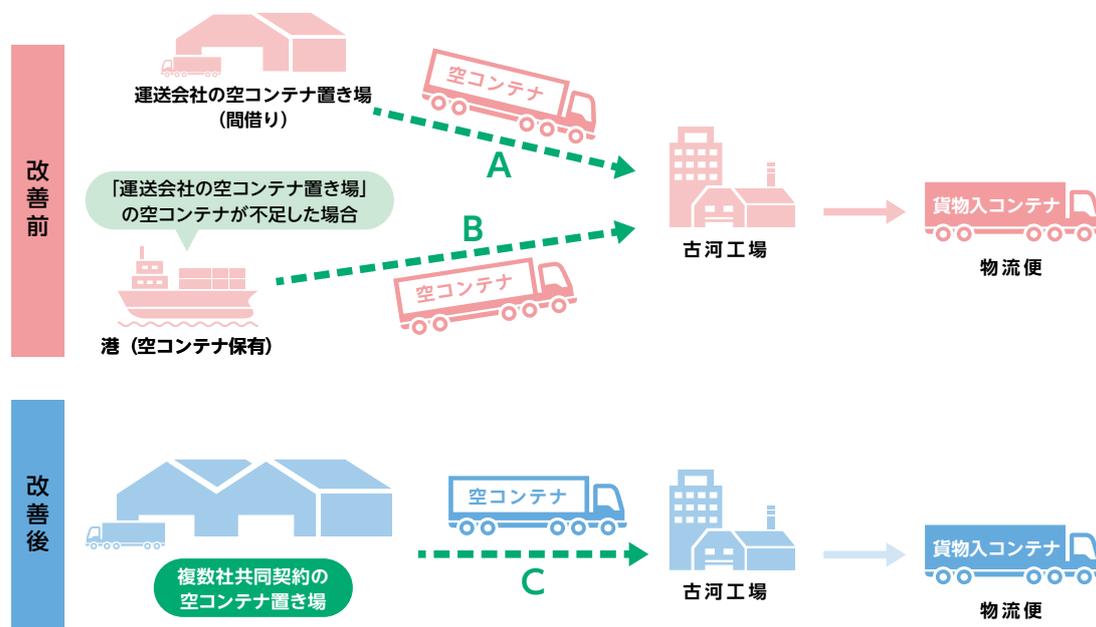
日野自動車では、物流におけるCO₂排出量の削減活動として物流改善会議を中心に以下の切り口から改善を推進しています。

- ① 積載率の向上 (各路線の統合、共同輸送化など)
- ② 物流距離の短縮 (生産地梱包による直送化など)
- ③ 大量輸送化 (増トン車化、トレーラー化など)
- ④ モーダルシフト (船舶輸送化など)

事例 | 他社コンテナ有効活用による物流CO₂排出量の低減

古河工場からの物流便は、通常は「運送会社の空コンテナ置き場」より空コンテナを持ち出し、不足する場合は更に遠方の「港」より空コンテナを運んでいました。

そこで古河工場に近い「複数社共同契約の空コンテナ置き場」から空コンテナを持ち出すようにした結果、空コンテナの輸送距離低減に繋がり、物流CO₂を31.6t-CO₂削減することが出来ました。



古河工場までの距離
B > A > C

空コンテナの輸送距離削減による物流 CO₂
-31.6 t-CO₂/年

会社情報	トップメッセージ	HINO 基本理念	サステナブルな社会の実現に向けて	日野の環境経営	SDGsと日野の戦略・取り組み	CSR マネジメント	トピック	ESGの取り組み		
							環境	社会	企業統治	ESGデータ集・その他

環境取り組みプラン(5ヶ年実行計画) 2020年 環境取り組みプラン 2025年 環境取り組みプラン 6つのチャレンジ 法令順守 マネジメント
各種環境データ その他の活動

エコドライブ支援

物流

日野自動車はお客様のエコドライブをサポートし続け、世界中のお客様から信頼される企業を目指します。

◆Pro Shift(機械式自動変速機)によるギヤチェンジサポート

お客様のエコドライブを実現するため、適切なギヤチェンジにより、場面場面に応じた適正なエンジン回転域を保つことが必要です。

Pro Shiftはギヤチェンジを燃費効率が良いグリーンゾーンで自動的におこなうなど、経験の浅いドライバーでも、エコ優良ドライバーのような省燃費走行が可能になります。

 [Pro Shiftについてはこちら](#)

●Pro Shiftの主な機能例



◆エコドライブ講習会

日野自動車では国内外のお客様を対象として、環境にやさしくかつ経済的な運転をサポートする目的でエコドライブ講習を開催しています。2020年度は国内で171名、海外28カ国で11,609名、合計11,780名のお客様に受講いただきました。環境に配慮した運転を習得でき、企業収益性も向上するという事で好評をいただいています。

また、羽村工場にある「お客様テクニカルセンター」では、2005年開設以来、2021年3月で累計来場者数が10万1千人に到達しました。

海外では、日野マレーシア販売(株)にあるHTSCC(Hino Total Support Customer Center)を、受講者の増加とお客様の多様なご要望にお応えするため、2017年にさまざまな運転状況を体験できる施設に一新しました。



マレーシアの「日野トータルサポートカスタマーセンター(HTSCC)」



講習の様子(新型コロナウイルス感染症流行前)

会社情報	トップメッセージ	HINO 基本理念	サステナブルな社会の実現に向けて	日野の環境経営	SDGsと日野の戦略・取り組み	CSR マネジメント	トピック	ESGの取り組み		
							環境	社会	企業統治	ESGデータ集・その他

環境取り組みプラン(5ヶ年実行計画) 2020年 環境取り組みプラン 2025年 環境取り組みプラン
各種環境データ その他の活動

6つのチャレンジ 法令順守 マネジメント

◆エコツリーレポート

日野自動車の製品はお客様のエコドライブをサポートするため、エコにつながる運転をするとアイコンの樹木が成長する「エコツリー」を表示する機能※を搭載しています。

またお客様一人ひとりの運転状況をまとめ、自動解析をおこなった「エコツリーレポート」を無償提供することで、エコドライブ、運行管理などに役立てていただくなど、環境面においてサポートしています。

※ 2010年発売以降(排ガス記号LKG,LDG以降)のプロフィア、レンジャー、セレガに標準対応。2014年発売以降のデュトロハイブリッドに標準対応

 [エコツリーレポートについてはこちら](#)



エコツリー



エコツリーレポート

◆お客様へのお役立ち活動

日野自動車では国内販売会社と協力し、車両の販売にとどまらない「お役立ち活動」を実施しています。「お客様とより深く長くお付き合いする」トータルサポートの考えのもと、省燃費に繋がる知識や運転方法などの「環境対策」に加え、「安全確保」「人材育成」など当社が保有する専門領域を活用しながらお客様の困りごとに寄り添い、問題解決を支援しています。

 [お役立ち活動についてはこちら](#)



お客様向け講習会の様子
(新型コロナウイルス感染症流行前)

エコツリーレポート活用による改善のご提案



デジタルタコグラフではわからない運転状況の詳細がわかります。安全や省燃費に向けた改善のポイントをご提案します

エコドライブ講習会



燃費向上方法について、運転の実技を習得するとともに、講義により、燃費向上方法の理解を深めていただきます

低公害車向け補助金・融資のご案内



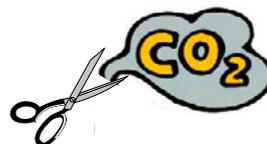
車両購入のご検討に際し、各種の補助金・融資制度をご案内します

グリーン経営認証取得のお手伝い



環境への取り組み姿勢をアピールする手段として認証取得の推進を提唱すると同時に、認証取得のお手伝いをします

CO₂削減のお手伝い



二酸化炭素削減についてのアドバイス(車両選定、エコドライブ、輸送効率)

環境取り組みプラン(5ヶ年実行計画) | 2020年 環境取り組みプラン | 2025年 環境取り組みプラン | 6つのチャレンジ | 法令順守 | マネジメント
各種環境データ | その他の活動

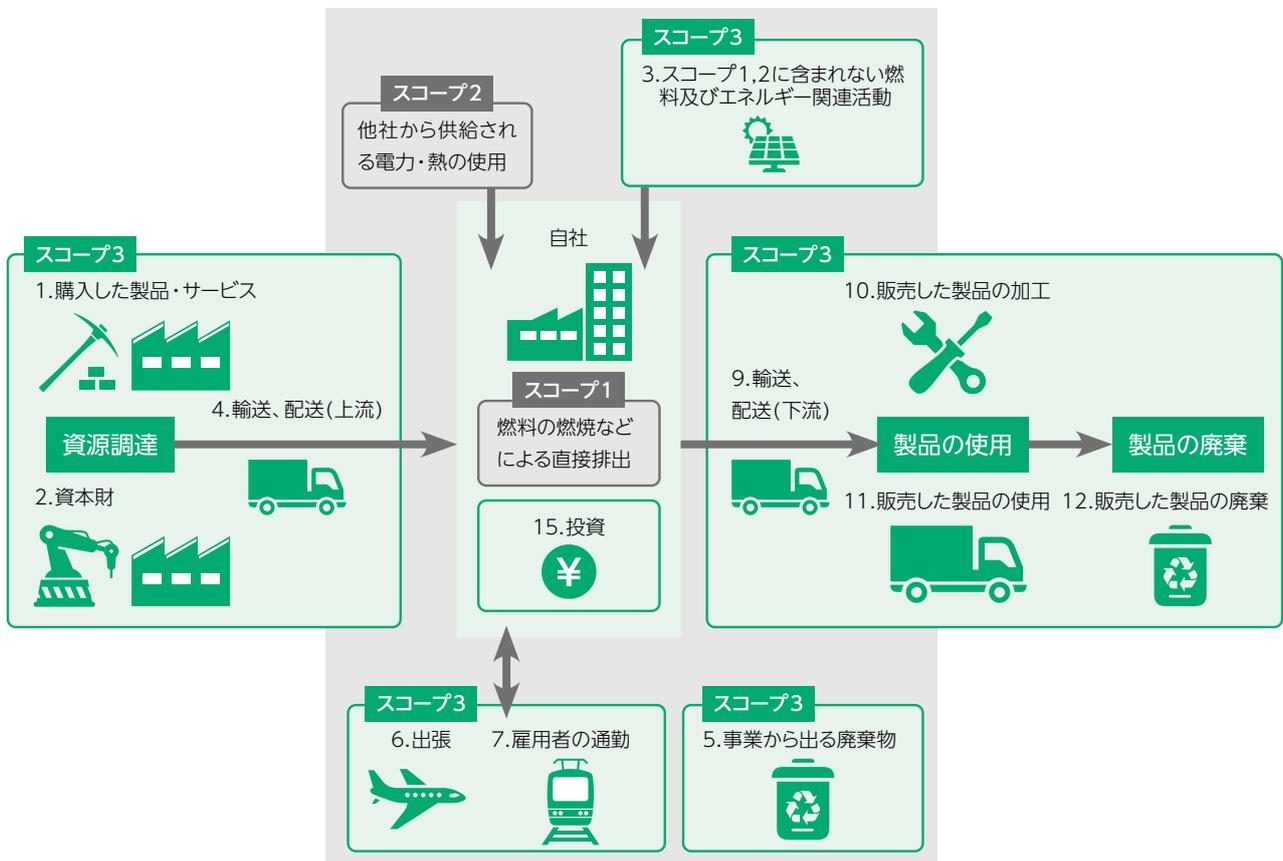
スコープ3への対応

[素材](#) | [物流](#) | [廃棄・リサイクル](#)

企業に対してサプライチェーン全体の温室効果ガス排出量を算出・開示することが社会的に求められています。日野自動車では「温室効果ガス(GHG)報告ガイドライン」に基づき、報告値、派生値、および入手可能なデータを用いてスコープ1、スコープ2に加えてスコープ3の排出量を算出しています。(但し、実際の排出量は異なる可能性があります。)

算出した排出量の比率を見ると「カテゴリー1. 購入した製品・サービス」、「カテゴリー10. 販売した製品の加工」、「カテゴリー11. 販売した製品の使用」を合わせた比率は、約99%を占め、その他のカテゴリーは各々1%未満となりました。今後もサプライチェーン全体でのCO₂排出量の管理を強化するとともに、CO₂削減活動に取り組んでいきます。

	カテゴリー	排出量 (万t-CO ₂)
スコープ1	燃料の燃焼などによる直接排出	12
スコープ2	他社から供給される電力・熱の使用	18
スコープ3	1. 購入した製品・サービス	178
	2. 資本財	15
	3. スコープ1,2に含まれない燃料及びエネルギー関連活動	6
	4. 輸送、配送(上流)	1
	5. 事業から出る廃棄物	1
	6. 出張	1
	7. 雇用者の通勤	2
	8. リース資産(上流)	0
	9. 輸送、配送(下流)	1
	10. 販売した製品の加工	77
	11. 販売した製品の使用	3,777
	12. 販売した製品の廃棄	5
	13. リース資産(下流)	0
	14. フランチャイズ	0
	15. 投資	2



会社情報	トップ メッセージ	HINO 基本理念	サステナブルな 社会の実現に 向けて	日野の 環境経営	SDGsと 日野の戦略・ 取り組み	CSR マネジメント	トピック	ESGの取り組み		
							環境	社会	企業統治	ESGデータ集・その他

環境取り組みプラン(5ヶ年実行計画) 2020年 環境取り組みプラン 2025年 環境取り組みプラン 6つのチャレンジ 法令順守 マネジメント
各種環境データ その他の活動

グリーン調達ガイドライン

日野自動車では、事業活動にかかわる環境の取り組みを一層推進するべく、お取引先様に対して環境への取り組みに関する「グリーン調達ガイドライン」を2021年に、日野環境チャレンジ2050、日野環境マイルストーン2030に基づき、改訂し、世界各国のお取引先様に展開しました。

今後はサプライチェーン全体での環境への取り組みを強化し、積極的な活動を推進していきます。

 [「HINOグリーン調達ガイドライン\(全ページ\)」はこちら](#)



グリーン調達ガイドライン